

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2013
5月

No.95

特集

P2・3

地域福祉の推進に
なくてはならない
善意銀行

6月1日は
『善意の日』



ひ孫と
いっしょ

シリーズ94

山崎町 野々上

内海 勲さん(85歳)

○内海 優輝くん・朔叶くん
(4歳) (2歳9ヶ月)

○大山 昌真くん(2ヶ月)

内海 祐樹さん・亜里沙さん

■長男・次男

大山 貴さん・彩さん

■長男



子育てサロンでボランティアによる読みかせを楽しむ親子(H24・9・21 穴栗防災センター) 地域の子育て支援にも、善意銀行が活用されています

6月1日は
『善意の日』

地域福祉の推進に なくてはならない 善意銀行

昭和39年、「みんなの小さな善行や善意が重なって、世の中が明るくなるものであり、県民だれもがこの日何か一つ善行をしてもらいたい」との思いから、兵庫県と兵庫県社会福祉協議会が6月1日を「善意の日」としました。毎年この日を中心に記念行事や善意の募金などが県内各地で行われています。今月号では、6月1日を前に、穴栗市社協の善意の日の取り組みと善意銀行が果たす役割について考えます。

穴栗市社協の 善意の日の取り組み

穴栗市社協では、今年も6月1日の「善意の日」にちなみ、6月1か月間を「善意推進月間」として、「善意の預託の推進」や「ボランティアの日」の活動への参加を呼びかけます。

「善意の預託」では、自治会長のご協力により募金袋を各家庭にお配りします。みな

さまには毎年のことで誠に恐縮に存じますが、今年もご協力いただきますよう、お願いいたします。

また「ボランティアの日」では、福祉施設や幹線道路での清掃美化活動などを行いますので、ご参加ください。

**ありがたい善意の預託
なくてはならないものです**

穴栗市善意銀行には、毎月、供養やお見舞い返しにかえて



昨年の千種支部の善意の日のパレードの様子(H24.6.1 千草)今年も6月3日に千種商店街周辺で行います

多くの預託金が寄せられています。

平成24年度は、6月の「善意の預託」と合せて、一千五百六十万円をお寄せいただきました。

社協では、この預託金が地域福祉の充実につながるよう、理事会や支部地域福祉推進委員会で十二分に協議し、活用しています。

※その使途は左のページ表1のとおりです。

**6年前に比べ
預託額は4分の3に減少**

地域福祉推進の財源である善意銀行ですが、その預託額

表1 平成24年度宍粟市善意銀行の収支状況(報告)

【収入】 (円)	
寄 付 金	収入金額
6月善意の預託	5,135,809
一般預託	10,479,614
24年度預託金合計	15,615,423
利息	2,291
前年度繰越金	5,010,511
収 入 合 計	20,628,225
【支出】	
払出しの内容	支出金額
地域福祉の推進に ・小地域福祉活動モデル地区事業 ・福祉関係団体(5団体)への助成 ・ボランティア連絡会、ボランティアグループ(115グループ)への助成 ・「子育てサロン」など子育て支援事業 ・「介護者のつどい」「男性介護者のつどい」など当事者支援事業 ・宍粟市地域福祉のつどい ・福祉まつり等イベントの実施 ・短期里子事業 など	13,753,000
社協の4つの支部の地域福祉推進事業や支部かわら版の作成に	1,905,451
結婚相談事業に	211,000
認知症の高齢者や障がい者の権利を守る活動に	324,000
家屋火災見舞金(4件)に	60,000
善意銀行運営経費として	183,487
支 出 合 計	16,436,938
平成25年度へ繰り越し	4,191,287

預託額減少の原因は…

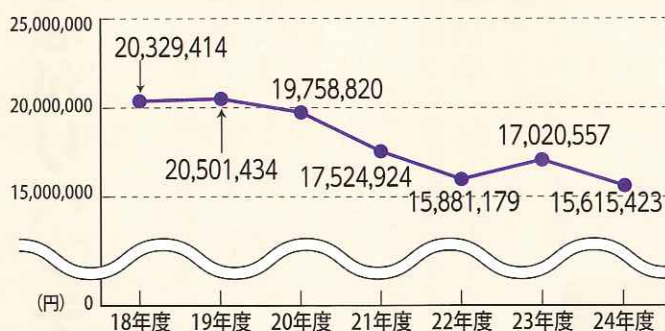
理事からは、預託が減った原因

は表2のとおり年々減少しています。平成24年度は23年度に比べ約1割減少し、6年前の18年度に比べると、約4分の3の預託額になりました。

こういう状況をふまえ、4月22日(月)一宮保健福祉センターで開催した本会の理事会では、善意銀行について集中的に協議しました。

として、「社協が合併して大きくなったことで、自分の届けたお金が役立っているという実感をなかなか持っていたいていないのでは…」合併以前に旧町域で生活改善の一環として、香典返しをやって、代わりに善意銀行に預託をしようという運動が行われたが、その意識も薄れてきたように感じる。「以前は、社協の介護サービスや介護用ベッドの貸出等のお礼として預託いただいていたが、介護保険の利用が進むにつれ少なく

表2 善意銀行預託額の推移



幸せのおすそわけを 善意銀行へ

なったように思える」などの意見が出ました。

また、使途についても、もっとわかりやすく説明すべきとの意見も出ました。

善意銀行への預託の減少は、社の地域福祉活動に大きな影響を与えます。

それは、善意銀行が地域福祉を推進するための貴重な財源である。

6月から預託金額を 希望により掲載します

本会広報紙「善意銀行だより」で行っております預託者の紹介について、預託金額も紹介してほしいとの意見が寄せられています。これをふまえ、6月からは受付時に、預託金額の掲載を希望されるかどうかお伺いし、希望される方についてはご紹介させていただきますことになりました。

り、預託をすることで、社協の地域福祉活動を動かしているという実感が持てるよう、今後さらにご協力を呼びかけていきますので、よろしく願います。

そして、これからは「供養」や「お見舞い返し」に加えて、お子様の誕生や家族の慶びごとの記念に「幸せのおすそわけ」を少しでも善意銀行に預託いただけないでしょうか。

本会でも、地域の方に感謝や喜びの気持ちが伝えられるよう、広報紙での紹介方法について次のような仕組みを取り入れるなど改善していきますので、今後ともいっそうのご協力をいただきますようお願いいたします。

や

まさき

心と身体を癒す園芸療法

NPO法人
アルファグリーンネットの取り組み



お湯に花やハーブを浮かべた手浴でリラックス。おしゃべりもはずみます

者は55名。穴栗だけでなく神戸や淡路から参加された方も

この日の参加

4月14日(日)、ひまわりの家でNPO法人アルファグリーンネット主催の「園芸療法講座」が開かれました。園芸療法は、花や緑、土にふれることで、心身を癒やし、失われた能力の回復や向上を図る効果があります。



フラワーアレンジメントは牛乳パックやペットボトルを活用して

あり、足浴や手浴の体験やフラワーアレンジメントなどを楽しみました。

参加者からは、「最近疲れていたのでリラックスできて良かった」また、フラワーアレンジメントに初めて挑戦した50代の男性からは「うまく出来たので、母にプレゼントしたい」との声も…。

「花と緑が持つ人を癒す力を、医療や福祉、介護に役立てるとともに、地域にも伝えていきたい」と、言われるのは園芸療法士のみなさん。

緑が多い穴栗市で、園芸療法が広がり、癒される方が増えればいいのになあと感じます。(山崎支部 森井裕矢)

※手浴(しゅよく)とは…手首または肘から先を湯に浸して血行を促す温浴法のことです。

い

ちのみや

つながりベンチで「ほっと一息」

ふれあい喫茶ほたるの里

4月14日(日)、下野田ふれあい広場で行われた、ふれあい喫茶「ほたるの里」は毎年恒例のお花見会です。

会場には60人が訪れ、「久しぶりやな、元気やったか」「桜が大分散ったけど天気さええしな」など、お茶を飲みながら会話がはずみます。

そのような中、木製のベンチに腰を掛け、おしゃべりしている方々を見かけました。そうです、「つながりベンチ」です。

つながりベンチは、善



受付は「ほたるの家」前で



“つながりベンチ”は、座っても見た目にも心地よく温かみがあります(下野田ふれあい広場)

意銀行預託金の一宮支部配分金を活用したもので、下野田ではふれあい喫茶などの交流の場で活用しています。

つながりベンチで「ほっと一息」…たくさんの方のつながりを期待しています。

(本部・一宮支部 波多野好則)

※善意銀行預託金一宮支部配分金の活用方法については、一宮地域福祉推進委員会で協議し、24年度は、福祉活動や交流活動等に活用できる備品を自治会数分購入し配布しました。

読者の感想より

私もまだまだ新米ママ。わが子には「人の話がきけて、友達が失敗しても応援できる子に」育ってくれるよう、子育てがんばります。(山崎町 女性)

こんにちは!
社協です!!

は
が



「花吹雪がきれいやなあ」青空の下、参加者の素敵な笑顔がたえませんでした（音水湖カヌークラブハウス前）

「憩いの会」に
参加してみませんか

活動日：毎月第1月曜日
10:00～12:00

（次回は6月3日です）

活動場所：メイプル福祉センター

※詳しくは波賀支部（75-3631）
までお問い合わせください。

（波賀支部 平 有利菜）

4月19日（金）、波賀の介護者の会「憩いの会」と一宮の「そよかぜ」の交流会が行われ、11名が参加しました。

フォレストステーション波賀で食事の後、音水湖のカヌークラブハウス前でお花見。参加者の弾く三味線に合わせて歌いながら、穏やかな春の一日となりました。

「最近どないしよってん…」同じ介護に関わる者同士のお話は尽きることがありません。初参加の方からは「誘ってもらっ

て参加したけど、これからも行かせてもらいたい」との声も聞かれました。

憩いの会では毎月1回、健康体操を中心に和気あいあいとした活動をしています。

「もつと新しい人が増えたらええなあ」「介護を一生懸命頑張っている人に自分たちの経験からアドバイスしたい」とメンバーは仲間づくりへの思いを話されます。

まずは気軽に足を運んでみてください。

笑ってしゃべってリフレッシュ

「憩いの会」と「そよかぜ」の交流会

お大師さんで会いましょう

4月21日は「お接待」

4月21日（日）は「お接待」の日。

弘法大師（お大師さん）の命日にあたり、お大師さんの像をお祀りしている家や大師堂では、茶菓やおにぎりや参拝者を接待する習わしがあります。



「よう参ってくれちゃったねえ」（穴栗新四国霊場第36番 千草地区）

地元の方たちは、朝早くからお大師さんをお祀りし、お接待の準備をしながら「年々お参りする子が少のうなつてきよるなあ」「今年は日曜日じゃで大勢来てくれるじゃろ」と話も弾み、参拝者との出会いが楽しみな様子でした。

この日は小雨まじりで寒い日でしたが、それでも次々と参拝者が訪れます。

お参りの後、お堂に留まって、久しぶりの出会いとおしゃべりを楽しむ参拝者もありました。

「お接待」が出会いの場として、これからも長く続きますように…。

（千種支部 小原志のぶ）



「まあそこに座ってな。お茶でも汲もか」（同所）

※お接待とは…四国八十八ヶ所を修行して歩く僧になぞらえ、千種にある70余りのお大師さんで参拝者を接待するものです。

ち
く
さ



「ボランティアの日」のお知らせ

千種

千種ボランティア連絡会と協力し町内の美化活動(ゴミ拾い)を行います。
どなたでもお気軽にご参加ください。



日時 6月1日(土) 9:00~12:00

場所 千種保健福祉センター集合

内容 ゴミ拾い

清掃場所 主に国道・県道沿い

持ち物 軍手、火箸、ナイロン袋

お問合せ 千種支部



波賀

しろう自立の家オープンデーで行われる「喫茶コーナー」で、ボランティア活動を行います。

参加いただける方は、事前にお申し込みください。



日時 5月25日(土) 13:30~16:00

場所 しろう自立の家(波賀町小野)

内容 喫茶コーナーのお手伝い

持ち物 エプロン、三角巾、うわばき

お問合せ 波賀支部

ボランティア
センター日誌

話した言葉が スクリーンに!



パソコンを使って式の進行や
挨拶を文字通訳していきます

4月14日(日) 千種小学校体育館

要約筆記ボランティアグループ「OHPしろう」が、栄栗市身体障害者福祉協会主催による地域啓発総合福祉大会で、参加者のサポートを行いました。

午前の式典では、挨拶や進行の内容をスクリーンに映し出し、午後のスポーツ大会では、会話やアナウンスをホワイトボードに書き留めて文字通訳を行いました。

パソコンや筆記で周囲の様子を伝える熱心な活動の様子と、参加者といっしょにコートの中で競技を盛り上げる姿がとても印象的でした。

「OHPしろう」は聴覚障がいのある方や高齢者など、誰もが参加しやすい社会を目指し、活動を続けておられます。

(波賀支部 草田希望)

ボランティア
センター日誌

「ロバの耳」の第一歩



笑顔で迎えてくれました

4月23日(火) 白寿園を訪問

3月に誕生した傾聴ボランティア「ロバの耳」のみなさんが、「最初の活動場所は施設で」と話し合い、白寿園を訪れました。

実際に、デイサービス利用者さんとケアハウス入所の方とお話させていただきました。「初めは緊張したけど、あっという間に時間がきたな」とメンバーの声。帰りには利用者さんより「また来てよ」と、言葉をいただきとても有意義な時間を過ごしました。

これからも相手の心に寄り添い、活動を広げていく「ロバの耳」を応援していきます。

(山崎支部 横山洋子)